

質問に対する回答について  
工事名)磐越自動車道 東松トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
R7. 5. 29 質問に対する回答について ⑦の訂正 (質問番号 1)	<p>金抜設計書において、番号 112-ロックボルト工 G (L=3.0) は 4,525 本が計上されています。これは、東松トンネル詳細設計業務-第3編 設計報告書(2工区トンネル編)- 第16章 数量計算書(II-4-9 頁) の積算用数量表(7) の計算によるものと考えます。積算用数量表(7) では断面パターン DIIIa(H)-C-RC2-K の 1 ピッチあたりの注入式フォアポーリングの本数を 21.5 本として計算されています。一方で、設計図(3/6)28/141 支保パターン図(8) では DIIIa(H)-C-RC2-K の注入式フォアポーリングの本数は 22.5 本となっています。どちらの本数を正として見積もりをすればよいのかご教示ください。</p>	<p>R7. 5. 29 「質問に対する回答について⑦」の質問番号1の回答について、以下のとおり訂正いたします。 (R7. 7. 1訂正回答)</p> <p>DIIIa(H)-C-RC2-Kの注入式フォアポーリングの本数は、設計図に記載の 1 ピッチあたり 22.5 本が正となります。 なお、DIIIa(H)-C-RC2-Kにおける注入式フォアポーリングは、区間の起点から 11 ピッチまでの打設を想定しております。</p> <p>DIIIa(H)-C-RC2-Kの注入式フォアポーリングの本数は、248 本となります。 ロックボルト工 G (L = 3.0 m) の数量について、正しくは 4,441 本となります。 交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
1	設計関係図書 設計図 トンネル 2/141、28/141 ロックボルト工 G (L = 3.0 m) 【注入式フォアポーリング】について、DIIIa(H)-C-RC2-K パターンの数量は、332 本となっておりますが、DIIIa(H)-C-RC2-K パターンの 1 サイクル当りの本数は、22.5 本で上半延長が 15.437m で計算では $22.5 \times 15.437 = 347.333$ 本となり合致しておりません。ご確認およびご教示をお願いいたします。	本質問に対する回答について R7. 5. 29 質問に対する回答について⑦の訂正 (質問番号 1) の回答に記載の通りとなります。

2	<p>設計関係図書 設計図 附帯工 11/29 コンクリート基礎工 D (F) について、詳細図を基に算出したものと材料表に記載されている埋戻しの単位数量が一致しません。ご教示願います。</p>	<p>設計図 附帯工 11/29 コンクリートブロック積工詳細図 基礎工材料表に記載の通り、埋戻しの数量は10m 当り 3.59m<sup>3</sup> となります。</p>
3	<p>設計関係図書 数量明細表 10 頁 質問回答 7-1 にて、ロックボルト工 G の数量が「4540 本」と回答がありました、「D IIIa (H) -C-RC2-K」パターンの 1 ピッチ当たり数量を 22.5 本とした場合、数量は「4530 本」となります。閲覧資料を確認したところ、ロックボルトの施工箇所数は数量算出要領に基づき整数で算出するところ、閲覧資料の施工箇所数は「15.437 箇所」となっています。少数にて計算されております。閲覧資料の通り「15.437 箇所」で算出した場合の数量は「4540 本」となりますが、正しい施工箇所数は「15 箇所」であり、数量は「4530 本」となるのではないか。</p>	<p>本質問に対する回答について R7.5.29 質問に対する回答について⑦の訂正（質問番号1）の回答に記載の通りとなります。</p>
4	<p>設計関係図書 設計図 参考図 18/45 【設計図_参考図 18/45 施工次第図(2)】を見ると、軟岩用トンネル掘進機による施工と想定されますが、C II-K2-S も同様の考え方で御見積してよろしいでしょうか。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>

5	<p>設計関係図書 割掛対象参考内訳書 1 頁 【割掛け対象参考内訳書_共通仮設費_工事用機械分解組立費（トンネル）】について、25t ダンプトラックの記載がありませんが、ずり処理工で使用するダンプトラックの仕様は下記のどちらでしょうか。 ①機械掘削方式部:10t ダンプトラック 爆破掘削方式部:25t ダンプトラック ②全線 10t ダンプトラック方式 ご教示願います。</p>	<p>割掛け対象表参考内訳書に関する質問にはお答えできません。</p>
6	<p>設計関係図書 特記仕様書 28 頁 集水ますの単価項目 TypeA に GL 付を追加されていますが、標準の Dc・0.5・0.5・0.5 との単価差が非常に大きい。今後数量変更が生じた場合不合理と考えますが、よろしいでしょうか、ご教示ください。</p>	<p>特記仕様書 29-10-1 集水ます (1) 種別に記載の <math>D_c \hat{ } (GL)</math> 0.50・0.50・0.50 は、集水ます TypeA ではなく、別途契約単価項目にて計上とします。 交付図書の一部に誤りがありましたので後日訂正いたします。</p>
7	<p>その他 20250514 回答の 4 番によれば、調査ボーリングについては夜間作業を行うことができると解釈しますが、以下のどちらでお考えでしょうか？ご教示ください。 ①トンネル掘削と同じく、昼夜 2 方施工/日で考えている。 ②昼か夜かどちらかの 1 方施工/日で考えている。 ③夜間作業のみの 1 方施工/日で考えている。</p>	<p>令和7年5月14日掲載の「質問に対する回答について④」質問番号 4 に対する回答の通りとなります。 なお、施工方法については、貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>